



第1回教育アンケート報告

令和6年度7月に児童、保護者、教職員の3者で実施した「教育活動アンケート」についての結果を報告いたします。それぞれ4段階の評価の結果を校内で分析し、評価の「4、3」の項目については次年度も継続した取組を進め、評価の「2、1」の項目については課題と捉え、具体的な改善策を策定し、目標達成に向けて取り組んでまいります。

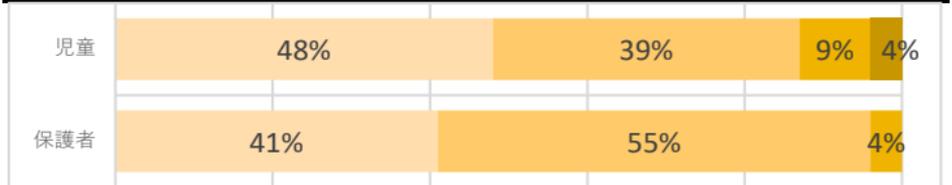
【評価評語】

- 4…よくあてはまる
- 3…あてはまる
- 2…あまりあてはまらない
- 1…あてはまらない

【回答数】

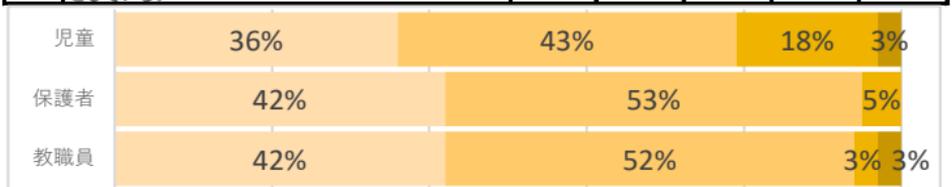
- 児童…451名
- 保護者…311名
- 教職員…31名

		4	3	2	1
1	楽しく学校に通っている。	児童 48%	39%	9%	4%
	満足感や安心感をもち、子どもを任せられる学校になっている。	保護者 41%	55%	4%	0%



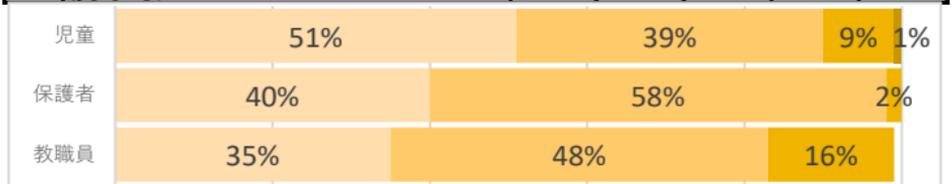
保護者の96%、児童の87%が肯定的に捉えており、概ね満足していると考えられます。しかし、13%の児童が否定的評価だったという点は大きな課題と考えます。児童・保護者・地域・教職員でチーム豊玉としてスクラムを組み、普段の授業だけでなく学校生活、学校行事など更なる充実を図り、より良い学校作りに努めてまいります。

		4	3	2	1
2	すすんであいさつ（語先後礼）や返事をし、正しい言葉づかいをしている。	児童 36%	43%	18%	3%
	学校は挨拶や返事、言葉遣い等、人権を大切にされた指導をしている。	保護者 42%	53%	5%	0%
	学校は挨拶や返事、言葉遣い等、人権を大切にされた指導をしている。	教職員 42%	52%	3%	3%

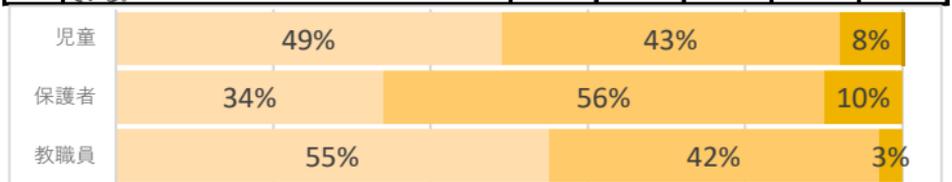


保護者の自由記述からも、児童が挨拶を意識するようになってきたというご意見が多数ある一方で、登校時にシルバーさんに挨拶を返さない児童がいる、挨拶を返さない教員がいるなどというご意見もありました。挨拶は人と人が関わる上で相手を大事にする一歩、その尊重の気持ちを表す上で「語先後礼」を徹底し、誰もがすすんで挨拶を交わす学校を目指します。

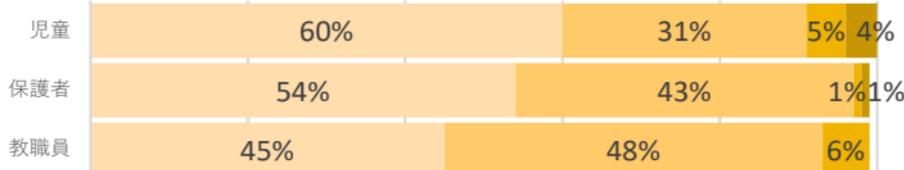
		4	3	2	1
3	「とよたまのこども」などの学校のきまりを守っている。	児童 51%	39%	9%	1%
	学校は学習規律や生活のきまりなどが身に付くように指導している。	保護者 40%	58%	2%	0%
	学校は学習規律や生活のきまりなどが身に付くように指導している。	教職員 35%	48%	16%	0%



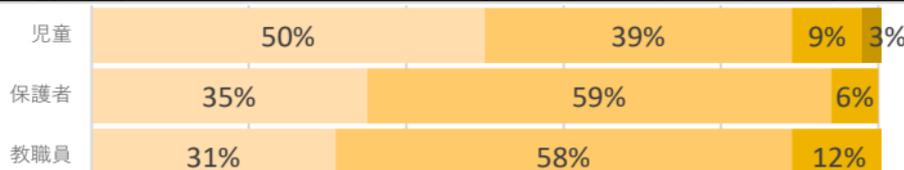
		4	3	2	1
4	いじめを自分もまわりの人もすることを許さず、友達の気持ちを考えて行動している。	児童 49%	43%	8%	1%
	学校は「いじめ見逃しゼロ」を目指し、適切な指導をしている。	保護者 34%	56%	10%	0%
	学校は「いじめ見逃しゼロ」を目指し、適切な指導をしている。	教職員 55%	42%	3%	0%



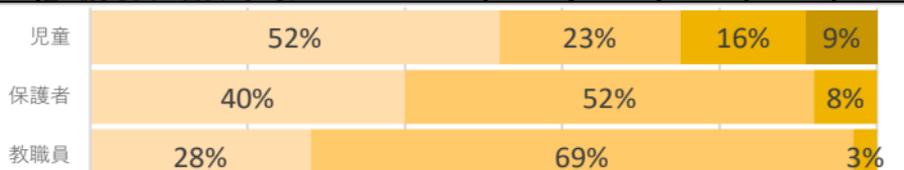
			4	3	2	1
5	たてわり班での活動に協力し、楽しく取り組んでいる。	児童	60%	31%	5%	4%
	学校は縦割り班での活動等を通して、異学年の交流が効果的に行われている。	保護者	54%	43%	1%	1%
	学校は縦割り班での活動等を通して、異学年の交流が効果的に行われている。	教職員	45%	48%	6%	0%



			4	3	2	1
6	すすんで学習に取り組んでいる。	児童	50%	39%	9%	3%
	学校は主体的・対話的で深い学びに向けた子ども主体の授業づくり、授業革新に努めている。	保護者	35%	59%	6%	0%
	学校は主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりに努めている。	教職員	31%	58%	12%	0%

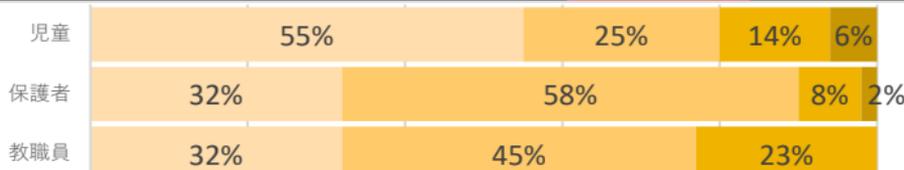


			4	3	2	1
7	すすんで読書をしている。	児童	52%	23%	16%	9%
	学校は読書旬間や学校図書館の環境整備等を通して、読書に親しむように図られている。	保護者	40%	52%	8%	0%
	学校は読書旬間や学校図書館の環境整備等を通して、読書に親しむように図られている。	教職員	28%	69%	3%	0%



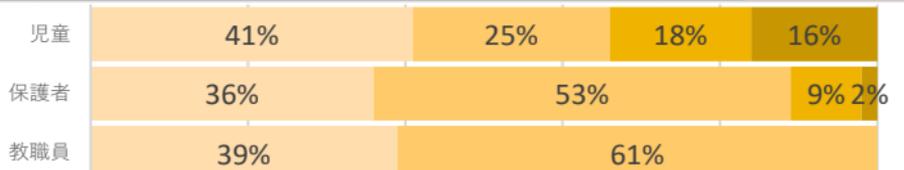
児童の肯定的回答は78%と低くなっており、すすんで読書をしているという実感が伴っていないようです。「読書離れ」「活字離れ」が指摘される中、読書をすることは豊かな情操とともに、情報活用能力を育む一端となります。普段の読書活動だけでなく、本校では、お話し会、ブックトーク、本の探検ラリー、読書旬間などの取組を通じて本に親しむようにしています。

			4	3	2	1
8	すすんで運動したり外で遊んだりしている。	児童	55%	25%	14%	6%
	学校は体力向上のための取組をし、すすんで運動したり、外で遊んだりする子どもの育成に努めている。	保護者	32%	58%	8%	2%
	学校は体力向上のための取組をし、すすんで運動したり、外で遊んだりする子どもの育成に努めている。	教職員	32%	45%	23%	0%



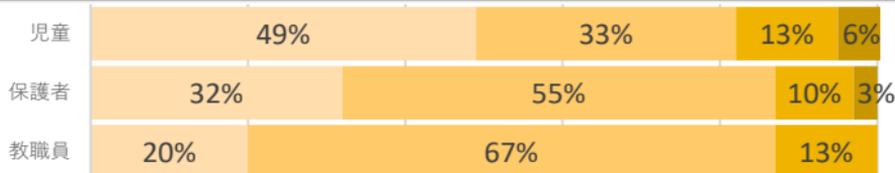
児童と教職員で肯定的回答が80%以下になっています。中休みの全員外遊びやクラス毎割り当てでの体育館遊びを今後も継続し、教員も一緒になって様々な遊びを通して体力向上を図っていきます。また、体力テストの結果を課題分析し、今後の体育の授業等に生かしていきます。

			4	3	2	1
9	なやみごとや困っていることを先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員に話すことができる。	児童	49%	33%	18%	16%
	学校は悩んでいたたり困っていたりする子どもの相談を受け入れる体制ができています。	保護者	36%	53%	9%	2%
	学校は悩んでいたたり困っていたりする子どもの相談を受け入れる体制ができています。	教職員	39%	61%	0%	0%

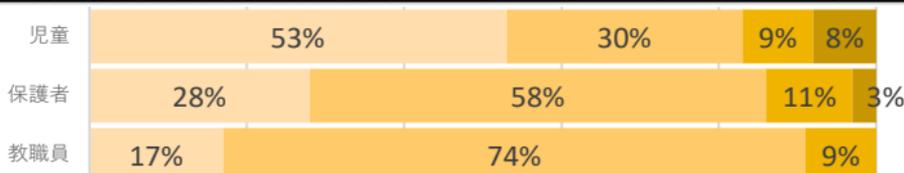


教職員の否定的回答が0%に対して児童が34%と大幅に乖離しています。児童にとって学校が相談しやすい場所になっていない現状を、非常に大きな問題と捉えます。日頃から保護者と連携し、子どもたちの小さい変化にも気付くことができるようにしていきます。また、子どもたちが相談できる場所や環境を改めて見直し、整えていきたいと思えます。

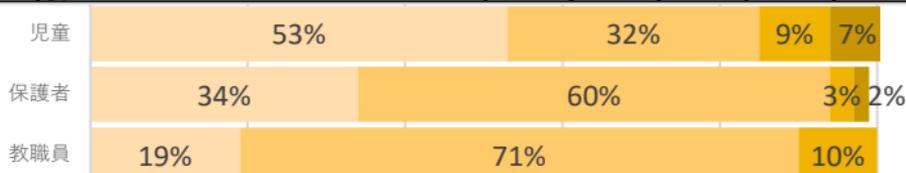
			4	3	2	1
10	大型テレビやタブレットを活用して学習に取り組んでいる。学校はICT機器を効果的に活用した教育活動に取り組んでいる。学校はICT機器を効果的に活用した教育活動に取り組んでいる。	児童	49%	33%	13%	6%
		保護者	32%	55%	10%	3%
		教職員	20%	67%	13%	0%



			4	3	2	1
11	漢字などの学習に朝の15分間のモジュールの時間が役立っている。(3学年以上)学校は15分間のモジュール学習の導入することにより、漢字等の基礎学力の定着が図られている。(3学年以上の保護者)学校は15分間のモジュール学習の導入することにより、漢字等の基礎学力の定着が図られている。	児童	53%	30%	9%	8%
		保護者	28%	58%	11%	3%
		教職員	17%	74%	9%	0%



			4	3	2	1
12	教科担任制により授業が分かりやすい。(5、6学年)学校は教科担任制により効果的な教育活動が図られている。(5、6学年保護者)学校は教科担任制により効果的な教育活動が図られている。	児童	53%	32%	9%	7%
		保護者	34%	60%	3%	2%
		教職員	19%	71%	10%	0%



			4	3	2	1
13	豊玉小を「日本一の学校」と思える。または、そうしたいと思う。	児童	59%	28%	7%	6%



14 保護者が学校と一体となった、より良い豊玉小の教育活動に向けて

※一部抜粋して掲載させていただきます。

【教育活動・行事】

- ・漢字の取組は、量が増えたこともありもう少し丁寧な指導が必要。
- ・算数のクラス分けを復活してほしい
- ・子供達は大人の意図を伺いながら、それに従った学習や生活をしている。現状では、子供達が自分の意志をもった魅力的な人間になる土壌があると思えない。
- ・水泳指導の授業は命を守るためでもあり、家族でプールに行くのと授業で行うのとは子どもの成長度合いが全く違う。近年暑いこともあり、天候に左右されずに行えるようプールはジムや中村南体育館を借りるなどしてできると良い。
- ・以前はプールの見学者は暑さが強い日は図書室で自主学习させていた。
- ・プールの授業時、プールサイドの待機児童への日焼け対策で運動会のようにテントをはるなどの対策を考えてほしい。
- ・宿題の量が少ない。塾通いしている受験生にはそれで良いのかも知れませんが、塾等で勉強していない子供への対応が緩い。
- ・夏休みの学習日はないのか。体育館開放など。
- ・夏休みの宿題が多すぎる。習得に差があるので、一律だと効果的と感じない。
- ・夏休みの宿題にリコーダーがあるが、近所迷惑になるため悩んでおり、学校の教室を使用させもらいたい。
- ・運動会はもう少し運動会らしいものに変えて欲しい。
- ・保護者が絵本を読む秋の読書旬間のように、もっと保護者が授業に関わるようにしてはどうか。職業の話等、もっと色々できないか。
- ・端末取り扱いなどについて、児童に先生が多方面から授業中に呼ばれると大変なので、低学年～中学年を中心に保護者サポートをつけるなどできるかと思う。
- ・プールや読書旬間、校外活動に保護者ボランティアの募集をかけてはどうか。

【時程】

- ・朝のモジュール学習は良い取組だと思う。
- ・モジュール授業により15分のびた時程だが、以前の6時間授業の終わり時間と同じになるように調整はできないか。習い事までの時間に余裕がなく、15分のびてからゆとりのない生活になっている。
- ・給食を食べる時間が短か過ぎる。10分しか無い日もある。子どもたちはかなり慌てて食べていると思われ、食育以前に事故が起こらないか心配。下校時刻を少し遅らせてでも、もう少し長くしてもらいたい。

【連絡】

- ・学校からの連絡事項がきちんと伝えられていないので、せめて一年生のうちはsigfyなどを活用し宿題や連絡事項は親への周知を徹底してもらいたい。
- ・児童への連絡がクラス毎に内容や手段に差があり保護者は戸惑っている。クラス毎で差が生じ連絡が疎かになるなら、一律で学校便りに明記してもらいたい。
- ・担任の先生以外の指導内容を知る機会がないので。教育活動の向上の為に先生方にとって有益となるような保護者の協力が何か、が便利りと参観だけでは理解が難しいです。ホームページの記事も頻繁にアップしていただいています。助かりますが、相互必要な協力内容が摩擦なく、気軽に情報として交換できるツールや機会があると理想的。
- ・保護者から担当教員に向けて、話したいことがある時のフォームが連絡帳しかなく、いじめなどの問題があっても、わざわざ子供に先生に渡して欲しいと伝えなくてはならず、もっと簡単にメッセージを送る方法が欲しい。
- ・連絡帳からタブレットで時間割記載になり、学校から帰ってから開くため宿題の内容について疑問点があっても分からないことがある。

【情報発信】

- ・お便りが無く、様子や担任の想い児童の活躍を知ることができないのが残念。
- ・学校だよりなどの配信が、スマホの画面では読みにくい。文字が小さすぎて、画面を拡大すると縦スクロールだけでなく、横スクロールも必要になり、読み落としが発生しそう。
- ・低学年だけでもclassroomの子どもたち向けの内容を保護者がスマホで確認できると良い。
- ・シグファイの連絡機能を、保護者→学校もあれば良い。
- ・学校のHPの更新頻度を上げて、どのような環境で活動を行っているかオープンにしてほしい。
- ・学年が上がるにつれ子供がどのように過ごしているか分からない。また、学校でどのように取組がされているか知る機会がない。

【学校公開・保護者会】

- ・学校公開は去年のように行い、なるべく授業風景を見学したい。
- ・平日でも良いので授業参観の数をもう少し増やしてほしい。一学期の授業参観は一度しかなく、子供の体調不良で行けなかった。
- ・学校公開時などに、親も一緒に参加できるような活動があると、親も子ども目線で主体的に関わる機会に恵まれるように思う。
- ・今年度から公開授業の機会が減り残念。国語や算数は宿題があるため、今どんなことをやっているのか把握できますが、他の教科は教科書も学校に置いたままなので、よく分からない。
- ・クラスの保護者との関わりがほとんど無く、子供同士で遊ぶ約束などをしてきたときに相手の保護者を知らず、連絡先も分からないという状況に困る事がある。他の保護者と顔を合わせて挨拶等できる機会がもう少しあればと思う。
- ・少人数で学校生活や日常生活のトラブル、学年ならではの取組などを、保護者と教員で意見交換する会などがあると良い。

【施設・備品】

- ・夏の教室がエアコン効いてなくてしんどそうなので直して欲しい。
- ・小3の子供が男子トイレが見えるのが嫌だと言っていた。見えないように構造的な配慮を早急にするべき。
- ・夏場はテントを校庭に常時設置し、校庭での授業や遊びに活用してほしい。
- ・カーテンを設置し、低学年の体育の着替えを男女分けたのが良い。
- ・意見箱など、いつでも気軽に意見が出せる環境があると良い。

【教職員】

- ・教員の言葉遣いがよくないときがある。
- ・子どもへの言葉遣いにも配慮が必要な時代。まずは大人がお手本になれるようにしていきたい。
- ・教員の発言や言葉選び、考え方などが子供に与える影響を理解しているのか、保護者に説明するときに差別的な言葉を使っているのではと気になる時がある。

【PTA】

- ・PTA活動の一部外注から始めてはどうか。
- ・PTAを縮小しても良いと思っている。とても良い組織とは思いますが、保護者の精神的な負担を考えると組織の改善をと思っている。
- ・登校の際の旗当番について、他校では実施していないところも多い。共働きの保護者も多く、負担になっているので改善してほしい。
- ・天候がわるいときの集団下校はとても安心できる。
- ・保護者と教員が交流できる場があるといい。昨年はスポーツ大会があり先生方との距離が縮まったと感じた。

【ひろば】

- ・ひろばで図書室を開放してあげてほしい。せっかく本に触れるのに十分な時間があるのにもったいないと思う。
- ・学童(ねりっこプラス)とひろばでの責任の所在が明らかではないときがあり困った。安全に預けることができないことを不安に思う。

今回特に多かったご意見には、保護者会、学校公開の回数の減少について、学校からの情報発信と連絡等のやりとりなどが挙げられます。

今年度は区の施策により土曜授業が4回になったこと、面談を毎学期実施する代わりに保護者会の回数が減らしたことなどにより、保護者の皆様が学校の様子を見たり、直接顔を合わせたりする機会が減りました。次年度に向けて、校内で検討し、学校と保護者、保護者同士がより連携するための改善策を検討していきたいと思っております。

また、情報通信ツールのsigfyを運用するに伴い、学年便りを廃止して学校便りに一本化するなど、学校から配布物についてペーパーレス化をすすめています。現在は学校便りの各学年の欄で、学年の様子等が分かるように掲載しています。また、ホームページに日頃の学校日記を掲載しておりますので、併せてご覧ください。

今回はここでの掲載は省略させていただきましたが、他にも感謝の言葉をたくさんいただきました。教職員一同、それらの言葉が今後の活力になります。誠にありがとうございます。ご回答いただいた内容を検討した上、今後の教育活動や次年度の計画に生かしてまいります。

豊玉小学校長 氣田 眞由美